鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

第65号　H23．9．26

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目1番1号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

10月の行事予定

10		月
1	土	
2	日	
3	月	**後期始業式・中掃除** 文化祭準備期間(45分授業木まで)
4	火	
5	水	文化祭代休日
6	木	職員胃検診
7	金	文化祭準備 中掃除(30分) (1・2年全カット, 3年平常校時) 実力考査時間割発表, 学校安全の日
8	土	**文化祭**
9	日	
10	月	体育の日
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	悠学講座⑤ 3年進研記述
16	日	3年進研記述　第2回英検一次試験 県理科研究記録展表彰式
17	月	**実力考査（1日目）** 1, 2年PTA
18	火	**実力考査（2日目）** 3年学力検討会
19	水	立会演説会, 生徒総会
20	木	
21	金	
22	土	3年全統記述
23	日	3年全統記述
24	月	学年朝会 いじめ問題を考えるLHR
25	火	
26	水	**三年生を激励する会**
27	木	
28	金	職員研修(進路)　中掃除
29	土	1・2年進研記述
30	日	2年進研記述
31	月	全校朝会

宅習時間調査

いじめ問題を考える週間

「自由」とは

生徒指導課主任　徳重　貴久

我々が若い時もそうだったと思うが「決まりが厳しい」とか「もう少し校則を緩やかにして欲しい」と思った時期があったような気がする。それでは、逆に決まりもなく何でも自由にしていいと言われた時、どんな自由な行動を取るのだろう。私の出身大学は順天堂大学という医学部と体育学部の2学部しかない大学で、現在はどうか知らないが、当時1年生は全員寮生活を送らなければならないシステムになっていた。一部屋に4～6人で生活し、各部屋に2年生が部屋長として一人ずつ入っていた。医学生と体育学生の気質は違う部分も多いが、いろいろな個性を持った人間の集団生活は今の人生に役立っていると思う。その最大の原因は、寮の規則がほとんどなく「自由」だったことである。廊下を挟んで勉強部屋と寝室に分かれているが、学習時間・起床時間・就寝時間など一切決まっていない。もちろん門限など何もない。ただあるとすれば、夜10時の点呼である。しかし、これも必ずその時間に寮にいなくても良く、同部屋の者にその時間の居場所を伝えておきさえすればよいのだ。つまり、いつ起きようが、いつ寝ようが、いつ勉強しようが、いつ食事を摂ろうが構わなかったのである。体育学生はどちらかというと専門性を生かすために部活動に集中し体力をつけることが主になり、医学生はもちろん勉強が中心にならなければならなかった。総勢約300名の寮生がいる中で、決まりがなく自由な生活が送れたのだが、この「自由」という言葉の意味は、寮生活の中で何をしても構わないが他人に対して迷惑をかけたり、不快な思いをさせたりする行動は本当の「自由」ではないと知る機会となった。勉強している医学生の邪魔をする者もいない、疲れ果てた体育学生が寝ていても騒がしくする者もいない、朝寝している者に対して授業に遅れそうであれば起こしてやるなど、常に他人の事を考えて生活していたように思う。鶴丸にもいろいろな決まりがあるが、場合によっては「自由」に出来る事もある。放課後の自習や日曜・祝日の学校での勉強もそうである。だれも強制ではなく、鶴丸生の本分としての勉強をするために放課後学校に残ったり、わざわざ休みの日に学校に出てきている。勉強の仕方・時間帯・休憩時間など自分で自由にできる。しかし今年になって、休日の日に学習している人がいる中でおしゃべりをする者がいたり、他にも廊下で騒ぐ者がいるとか、悠学館で本が戻されていないとか、消しゴムのカスが残っているとか、昨年まではあまり聞かなかったことを耳にするようになってきた。その一つ一つの行動は、個人にとっては当然自由な行動であるが、他人に迷惑をかけたり、不快な思いをさせている行動でもある。自宅での学習の仕方や家庭生活が、学校生活でもそのまま通用するとは限らない。集団における「自由」をもう少し考えて欲しい。

4月からこの生徒指導課主任という仕事を任されることになったが、生徒に決まりを守らせることよりも周りのことや先のことを考えた行動をとれる生徒が増えて欲しいと考えている。その手始めとして、一週間に2～3回正門に立ち朝の挨拶（クラス章や頭髪、スカート丈の注意も）をしていると、挨拶を先にしてくれる生徒、挨拶したら返してくれる生徒、挨拶したら恥ずかしそうに会釈する生徒、様々であるが（挨拶をすること、返すことも自由である）、一つ言えることは、4月当初からするとはるかに、言葉にして「おはようございます」と言ってくれる生徒が増えたこと、女子生徒で笑顔で挨拶してくれる生徒が増えたこと、繰り返すことで少しずつでも良くなっているなと実感できている。

これらが波及して望むことは、鶴丸という校内生活において、本当の「自由」の意味を考えて実践できる生徒と、朝みんなに「おはよう」と言って教室に入る生徒が増えて欲しいということだ。そうすれば、もっともっと素晴らしい鶴丸生が巣立っていくような気がする。

第63回体育祭

前期生徒会　体育局局長　22R　吉村　太海

去年も体育局補佐として体育祭運営に携わってはいたが、資料作成等はほぼ先輩が行い、これといった仕事ができず仕舞いだったことが去年の反省点だった。それが原因で、今回、局長という立場ながら今何をすべきかが分からず、困ったことが多々あった。しかし優秀な補佐二人が、仕事を一つひとつ着実に熟してくれたお蔭で、準備・運営は心配であったが、なんとか体育祭当日までを滞りなく終えることができた。

もう一つ僕には、運営側だけでなく一選手としても心配なことがあった。原因は体育祭予行にあった。実は予行においても競技には点数がつくのだが、その結果が3年生に大敗、1年生とは同点というものであったからだ。

我々2年生の目標は当然「優勝」。我々2年生が今後、この鶴丸を背負って立つことが出来るという証明において、我々は絶対に優勝しなければならなかったからだ。

部活動引退後も力の衰えを知らない3年生、若さを武器に年齢・体格差をものともしない1年生、そしてその両者をも凌がんとする絆と力強さを持った2年生、その三つ巴の戦いは熾烈を極めた。応援団の全身全霊の演舞を受け、会場の声援も一段と増し、鶴丸生一人ひとりが感動のゴールへと駆け抜けた。そうして各色、一進一退の攻防の結果、遂に我々蒼組が紅組・翠組を降し、その手に勝利の栄光を掴みとることが出来た。それはまさに、脈々と続く鶴丸の伝統のバトンを確かに3年生から受け取った瞬間でもあった。

最後に感謝の言葉を述べたい。今回厚くご指導下さった上村先生をはじめ、執行部の仲間たち、当日役員をしてくれた部活動生の皆さん、そして今大会の主役であった選手の皆さん、その全員のおかげで第63回体育祭の成功があったと心から思う。本当にありがとうございました。

James先生（新ALT）あいさつ

Dear everyone at Tsurumaru High School,

My name is James, and I am your new English ALT at Tsurumaru High School. Kathryn, your previous ALT, has now returned to England, and she tells me she misses you all very much! If you can, please send her an email (Kathryn_castle@hotmail.com) – she would love to hear from you all! I look forward to succeeding her and being a part of Tsurumaru school life.

So, firstly, a little bit about myself. I am from the city of York in England and I am 23 years old. I arrived in Kagoshima from London in August. I joined the JET Programme to teach English after visiting Japan in 2010. I loved Japan so much I wanted to return as soon as possible!

In my first month, I have been warmly greeted by everyone I've met, both in the school and in the city. Everybody has been incredibly friendly and welcoming, and I look forward to getting to know you all very well. I have already introduced myself to the ichi-nensei, and everybody can find out more about me by seeing the English noticeboard, sending me a letter, or even seeing me in person!

Sports day was a great success, and was enjoyed by everyone. Everybody demonstrated high levels of skill and dedication, and you should all be very proud for what you achieved. I was also hugely impressed by the school concert on 18th August. You showed incredible levels of talent – and provided a very entertaining afternoon!

Thank you again for welcoming me to Kagoshima and Tsurumaru High School, and all the best for the future!